ノロウイルスは手洗いで予防を

木暮院長の患者サポート⑲

冬場に流行する「感染性胃腸炎」。市感染症情報センターによると、市内も同様、患者数が11月から急増している。嘔吐や下痢などを引き起こす感染性胃腸炎について、消化器病専門医の木暮悦子院長（木暮クリニック）に話を聞いた。

木暮 悦子院長

昭和大学横浜市北部病院消化器センターにて工藤進英教授のもと内視鏡技術を学び、平成22年溝口に開業した。

◎日本消化器病学会専門医
◎日本内科学会認定内科医
◎日本消化器内視鏡学会指導医

「冬場に流行するのは、『ノロウイルス』を代表とするウイルス性の感染性胃腸炎です。症状は嘔吐や吐気、下痢、腹痛、37度台の発熱が見られ2日程度続きます」と木暮悦子院長。

感染経路は、感染した人の便や嘔吐物に触れた手を介してウイルスを体内に取り込む、ウイルスに汚染されたカキなど二枚貝を不十分な加熱処理で食べた場合などがある。「ノロウイルスはアルコール系の消毒剤では死滅しません。家庭でできる一番の予防法は石鹸の手洗いです。特に排便後、調理前や食事前は重点的に行いましょう」

また、便や嘔吐物を処理する時は使い捨て手袋、マスクを着用。殺菌には次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤を使用する。

「ノロウイルスには、有効な抗ウイルス薬はありません。乳幼児やご高齢の方は下痢による脱水症状を生じることもあります。早めに医療機関へ受診して下さい」と話す。

木暮クリニック

KOGURE CLINIC

胃腸内科　消化器内科　内科　胃・大腸内視鏡

検査は平日・土曜に行っています

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	●	●	●	—	●	●	—
15:30～18:30	●	○	●	—	○	—	—

TEL.044-870-7710　○18:00まで

休診日　木曜・日曜・祝日

〒213-0003 川崎市高津区下作延2-4-3
溝の口メディカルモール3階

http://www.kogure_clinic.jp